

広報 なかわだ

2015年 4月

中和田カトリック教会
広報委員会

第421号
2015年 4月 5日

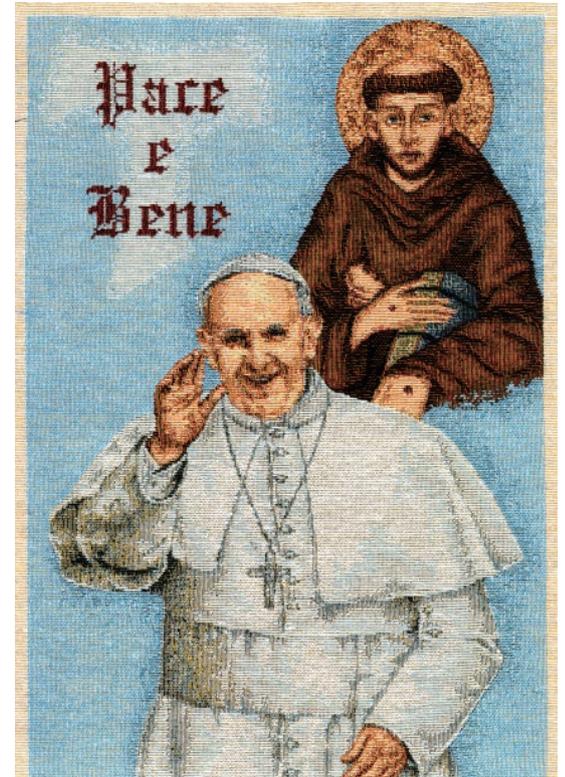
泉区中田北 1 丁目 9-1 Tel. (045) 803-6141
<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/nakawadacatholic/>

3人のフランシスコ

フランシスコ・ザベリオ 日野 武満 神父

2015年の復活祭を、心からお祝い致します。

- アッシジの聖フランシスコ (1182年生)
- 聖フランシスコ・ザビエル (1506年生)
- フランシスコ教皇 (1936年生)



フランシスコ教皇様が2013年3月13日、世界で初めて南米大陸アルゼンチン出身者が選出されて2年が経過しました。

URBI ET ORBI (ローマと世界へ)

ベネディクト16世教皇様が現役退位され(2013年2月28日)カトリック教会は驚きとともに次の教皇様が選ばれるまでローマに目がむけられました。

教皇様は常にPACE E BENE (平和と善)をかかげたアッシジの聖フランシスコの生涯に向けられています。

12世紀～16世紀前半～21世紀へと3人のフランシスコをURBI ET ORBIへ贈って下さった主に感謝と賛美をささげます。

教会しよみ (四月)

日	曜	典 礼 (ミ サ)	備 考	そ の 他
2	木	主日ミサ (19:00)	聖木曜日 (主の晩餐)	
3	金	祭儀 (19:00)	聖金曜日 (主の受難)	
4	土	祭日ミサ (19:00)	聖土曜日 (復活徹夜祭)	
5	日	主日ミサ (10:00)	復活の主日 [祭]	
8	水			聖書の会 (10:00)
10	金	週日ミサ (9:30)		
12	日	主日ミサ (9:00)	復活節第2主日	教会委員会
15	水			聖書の会 (10:00)
17	金	週日ミサ (9:30)		
19	日	主日ミサ (9:00)	復活節第3主日	信徒の会
22	水			聖書の会 (10:00)
24	金	週日ミサ (9:30)		
26	日	主日ミサ (9:00)	復活節第4主日 子どもミサ	召命祈願の日

～ 中和田の風 ～

私をお使いください 小さなことを大切に



楠田恵美子さんにお子さんの頃の思い出と日頃大切になさっていることについて伺いました。

▲幼児洗礼を受けられたそうですが、子供の頃のことをお話ししてください。

一広島に住んでいた母方の父は若い頃教会の伝道師をしていましたが、広島原爆で亡くなりました。父は長崎の小さな島「神ノ島」の出身です。詳しく聞いたことはありませんが、隠れキリシタンの末裔だと思います。長崎原爆投下後、瓦礫となった浦上天主堂のすぐ下に越して来ました。朝、昼、夕と教会のアンジェラスの鐘が鳴り、朝の鐘は御ミサを告げる時計代わりでした。毎晩家族揃って家庭祭壇の前で大きな声で夕のお祈りをしたこと、クリスマスに着物を着せてもらい御ミサから帰ったらご馳走がいっぱいで、家族や親せきが集まりお正月よりも楽しかったことなど今でもありありと思い出します。

東京に出てきて一時期、教会から遠ざかっていたことがありました。以前小林神父様が「洗礼だけでなく堅信を受けていれば、いずれ教会に戻って来る」と仰っていましたが、その通りだと思います。子供たちも今は教会から遠のいていますが堅信を受けているので、必ずいつか戻って来てくれると信じています。息子は子供の頃、要理で勉強した友人たちと一年に一度は集まっているようで嬉しいですね。

▲信仰を持っていて良かったと思うことはありますか？又日々の生活で大切にしておられることはどんなことですか？

一長い人生の中で心が折れそうになったことは何度もありましたが、やはり信仰に支えられ困難を乗り越えてこられたのだと思います。神様はどんな時も私たちが愛し励まし守ってくださっていると信じているので、辛く苦しい時もいつか必ず良くなるだろうと前を向いて歩いてきました。神様がいつも一緒にいてくださるので恐れることは何もないと思っています。

人にしてもらおうよりは、自分が人のために何かできることに幸せと感謝を感じます。マザーテレサの祈り「私をお使いください」は大好きな聖歌です。小さくて目立たないことかもしれませんが、教会の畑仕事、そうじ、草取りなど、ご奉仕は祈りそのものだと思います。

▲普段はどんなお祈りをされますか？

一子供の頃は教会、学校など至る所で顔や腕に痛々しいケロイド状の火傷跡が残る人が大勢いました。今の日本の平和は原爆などで命を落とされた多くの方々の命の犠牲の上にあります。この頃世界情勢が不安定で紛争が絶えませんが、子供の頃見聞きした戦争の悲惨さを伝え、今の平和を繋いでいくことが責務だと思っています。一人の祈りはささやかかもしれませんが、平和で安心して暮らせますようにと祈らずにはられません。

第5地区湘南キリスト教セミナーからのお知らせ

毎年ご好評をいただいている、「第5地区湘南キリスト教セミナー」は、今年も下記のように開催される予定です。

- ・会 場 中和田カトリック教会
- ・日 時 2015年11月7日(土) 14:00～16:00
- ・お願い 教会関係者に限らず、一般の方々にも興味を持っていただける内容でお話しして下さる方がおられましたら、ご一報いただきたくお願い致します。また、講演会形式にこだわらず、ワークショップやコンサート(音楽一般等)を組み入れることも可能ですので、皆様のお知り合いでご存知の方をお知らせください。



(担当 石井 悠子)

イエズス会 萱場 基 神父様の黙想会が行われました

日野神父様が休暇で御留守中の3月22日(日)に、萱場神父様のご指導で四旬節の黙想会が行われました。御ミサの後、聖堂に残られた皆様とともに萱場神父様の講話をお聴きし、その後赦しの秘跡を受けました。

春分を過ぎたこの時期、厳しい現実社会の様相があるが、どんな時でも神様の愛は私達を見捨てないということ。神様の愛はイエス・キリストによって示されたこと。復活の背景に十字架があること。偶像崇拜の旧約時代のイスラエルの民は神の民でないが、神様は愛して下さいました。神様は神の民にふさわしくない者であっても、それでも愛して下さいます。御子イエス様を世にお与えになり、さらに十字架上の受難によって死に至らしめられたのも、主にふさわしくない者(ロ・アマル)を、愛によって共にいるもの、ふさわしい者(アマル)にしてくださいるためでした。神様に背く人々を回心(神様の愛に心を向ける)に向かわせるためでした。

回心のきっかけは十字架上のイエス様の死の意味は何か、十字架上のイエスに対し、

「何をしてきたか、何をしているか、何をしようとしているか」

を考えることです。

今のこの現実社会を神様はどう見られるだろうか。私達のこの世界では、貧困、悩む人、東北の被災者の皆様など・・・たくさんの問題がある。

教育現場では、教育者の悩みが多い。東京の区立の学校では23才の新人の教師が悩んだ末、将来の希望を絶った。教師でうつ病になり休職する人が増えていて、4995人もいる。教師が一人で悩みを抱え込むのではなく、みんなで共有するような関係性を築くことが必要ではないか。社会全体に関係性の崩壊が見られる。交わりが大切である。

約1時間のお話でしたが、現実の社会問題も交えてお話くださり、自分の生活や生き方を振り返る良い機会になりました。(武田幸子)



福島「渡辺農園」さんからの手紙

福祉グループの中島喜美子さんが福島県喜多方市山都町の農家「渡辺農園」のお米を取り寄せ販売しています。1kg600円(玄米500円)と割高ですが、農薬、化学肥料を使用せず栽培された美味しい(放射性物質に関して国の基準値を満たした)お米です。震災後の福島を支援する方法として取り組んでいますので、お気持ちのある方は中島さんにお尋ねください。以下は渡辺さんからのお手紙です。

「三月に入りまだまだ風は冷たいですが光に春を感じるようになりました。雪もだいぶ解け田んぼの畦も顔を出して参りました。雪解けが進んだ田んぼでは北帰行の白鳥たちが落穂をついばみ、これからの長旅への備えをしているかの様です。日毎に“いのちの躍動”が感じられるようになりエネルギーを与えてもらえる季節です。土作りのための、米ぬか・菜種かすの発酵、肥料の仕込み、種もみの浸種と今年も田んぼの準備が始動です。こうして今年も耕す準備ができますのも、皆様に支えて頂いておりますお陰です。感謝です。」

人間がいなくなっても自然は困らないけれど、自然がなければ人間は生きてゆけない“と言われた方がいらっしゃいましたが、本当にそうだとつくづく思います。原発の負の遺産をこれ以上、次世代、自然に押し付けられないですね。」



典礼グループだより

典礼グループは、主日のミサ典礼を中心に、祭儀に関わること奉仕をさせて頂いていますが、香部屋、先唱、朗読、侍者、オルガン、生花など、活動が多岐に亘っていて、17名のメンバーが分担して活動しています。ミサ典礼は、司祭と信徒全員が、同じ「主の食卓」を囲んで「主の過越」を記念する祭儀ですから、俗っぽい言い方をすれば『全員参加の祭儀』となります。つまり、決して司祭と典礼奉仕者だけで成り立っているのではなく、与っている信徒全員の参画が大前提です。

聖書朗読を例に挙げると、朗読する信徒は、「みことば」を『読む』というより『伝える』ことに、会衆席の信徒は「みことば」を『聞く』のではなく『聴く』ことに努力が必要であり、これがないと「ことばの典礼」は成り立ちません。

そして、この祭儀全体が、中和田共同体の祈りとなって歌のように流れ、参列者全員が与る感謝と喜びを実感して頂くために、裏方として、それもなるべく目立たないように（しもべ、はしためとして）活動しているのが、典礼グループと言えると思います。ミサ典礼の形（かたち）は世界共通ですが、司祭方の“司牧的配慮”などによって、小教区毎に若干の違いもあります。中和田教会も40余年の歴史を通して培った形（かたち）が出来ています。これからも、少しでもより良い形を求めて歩いていきたいと念じております。

皆さまのご協力を宜しくお願い申し上げます。
(小野雅彦)

委員会だより

(文中敬称略)

△3月8日(日) 12名出席▽

■日野神父様のお話

・今月は、山崎神父様の命日が7日でした。6日(金)にミサを捧げました。今月は、私が休暇ででかけますので、よろしく願います。

■各グループからの報告

●副委員長(岩崎)

・2月15日(日)に第5地区共同宣教司牧委員会に参加した。年4回あるので、その都度皆様にご報告したい。

●信徒の会(岩淵)

・世話役(進行役)としてお引き受けします。(今井)

●行事(武石)

・復活祭のパーティーは、4月5日(日)のミサ後に行う。飲食物は用意しますが、手作りの持ち寄り品と御寄付は大歓迎。前日の卵ゆでは、9時から行う。お手伝いは、第1、第2地区の方をお願いする。

●総務(上野)

・萱場神父様の黙想会後の昼食会は、神父様のご予定や準備の関係上、千円会費で簡素に行う。

・4月のスケジュール確認。

・「聖書の分かち合い」は、「聖書の会」と名称変更する。

●広報(武田)

・原稿依頼(締切3月24日)

●建物を考える会・営繕(五十嵐)

・大掃除の分担について発表された。

●福祉(楠田)

・ホームレス支援のために、米・味噌・缶詰を戸塚教会に送った。カリタス・ジャパンから愛の献金の依頼が来ている。

・毛糸の帽子は、皆様のご協力で30個以上できています。

●要理(本庄)

・初聖体は、来年の復活祭に行う。1年かけて勉強会を行う。3月30日に1回目の勉強会を行う。

●宣教(岩崎)

・湘南キリスト教セミナーの実行委員会が、2月8日に行われた。開催日を中和田教会の都合に合わせて決めてほしい。

・11月7日(土)と14日(土)を提案。当日のビデオ撮影を広報部にお願する。

・第5地区で開催中のキリスト教入門講座のリストが届いている。

・4月後半に、森脇さんの提案で天体観測とビデオ映写とお話の会を行う予定。

・5月に森脇さんが、学校の理科の先生用の資料を配布する予定。

●財務(甲斐)

・一般会計月次報告、建設会計月次報告、愛の献金月次報告が行われた。

・2月は、水道光熱費がやや増えた。

●典礼(小野)

・3〜4月の典礼暦確認。

・3月22日(日)の黙想会/ゆるしの秘跡の日程確認。

・横浜教区典礼研修会(2月11日)は、

457名の参加があり、中和田教会からも12名の参加があった。

・横浜教区合同入信志願式(2月22日)は、154名の志願者と関係者が参加した。

・聖体授与の臨時の奉仕者研修会(6月7日、7月5日)のお知らせ

・日本カトリック司教協議会発行の2つの文書について、典礼委員会で検討後、教会委員会に提案する。

■その他報告事項

・スケジュール確認(4月)

・月修配布資料について、説明された。来年は山崎神父様の十周年忌になるので、中和田教会全体として取り組みたい。

・神父様の3月お留守中の留守番表が発表された。

・バザー委員会のメンバーが決まった。3月29日に第1回バザー委員会を開催予定。

■討議事項

・第5地区災害時連絡体制の連絡員を決めて報告する。被災状況報告については、今年の避難訓練の時、報告の手順の確認をする。

・第5地区共同宣教司牧委員会の分担金は、5月17日に提出する。

■その他

・災害時の避難の方法について、建物の会なども含めて総合的に検討する必要がある。以上

(次回委員会 4月12日)